

志賀原子力発電所 1号機 復水器真空度測定用配管の溶接部のひびについて

定期検査中の志賀1号機において、タービン建屋内にある復水器蒸気側の内部を点検していたところ、3月27日に復水器真空度測定用配管16本のうち、1本の溶接部1箇所にはひびを確認しました。他の15本については外観目視点検を行い、異常がないことを確認しています。

真空度測定用配管16本のうち8本は建設時に使用したもので現在は使用していません。今回、ひびを確認したものは使用していない配管の1本です。

当該配管を含め、使用していない8本の配管についてはバスケット部を取り外し、配管を塞ぐこととします。

なお、外部への放射能による影響はありません。

バスケット：検出口の円筒とこれを覆う網状のかごとが合わさったもの。網状のかごは、検出口付近の蒸気の流れを整え、動圧を防止し、圧力を正確に測定するために付けられている。

